

R4.2月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
2月2日	2月5日	4日	尿路感染症	オムツ内に少量の血尿確認。 検尿 亜硝酸 (+)、潜血 (-)、 白血球 (+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤、止血剤、胃腸薬処方 ノルフロキサシ (100) 3T 3×1 トランサミン (250) 3T 3×1 レハミビト (100) 3T 3×1 経過観察へ。
2月4日	2月7日	4日	肺炎	KT37~38°Cの発熱持続。頻呼吸EKG検査ST-T異常、心房細動の解析 Dr診察 肺炎の診断 抗生剤4日間投与 オグメンチン (250) 3T 3×1 経過観察へ。
2月10日	2月14日	5日	肺炎	KT37.5~38.3°C Spo2 90~95%、 咳嗽持続、喘鳴(+) オムツ内不正出血(+) 食欲不振等 Dr聴診にて肺炎の診断、 抗菌剤止血剤鎮痙剤5日間投与 ノルフロキサシ(100) 3T 3×1 トランサミン(250) 3T 3×1 ブスコパン(10) 3T 3×1 解熱剤 アセアミノフェン 0.4g 頓用 経過観察へ
2月14日	2月18日	5日	尿路感染症	KT38.2°C、左手関節腫脹 (+)、 検尿 亜硝酸 (-)、蛋白 (+)、潜血 (+) Dr診察にて尿路感染症の診断。抗菌剤、鎮痛剤5日間投与 ノルフロキサシ(100) 3T 3×1 ロキソプロフェンNa(60) 3T 3×1 解熱剤 アセアミノフェン 0.4g 頓用 経過観察へ
2月18日	2月21日	4日	肺炎(右肺)	2/9頃から咳嗽・咽頭痛あり。 Dr診察 内服処方 PL配合顆粒、SPトローチ処方 2/18全身倦怠感・呼吸苦 (+) Spo2 89~90% 食思不振、顔色不良。Dr診察し、胸部X-P 検査施行。肺炎像所見(右肺) 抗生剤、鎮咳剤4日分投与 オグメンチン(250) 6T 3×1 レスプレソ (20) 3T 3×1 一般状態観察へ。 2/21胸部X-P再検査右肺炎像所見改善見られず。 右頸部に7×5cmの腫瘤認める。 酸素化低下不良にて 岡崎市民病院救急外来受診 胸腹部単純造影CT検査にて 肺癌、多発肺内転移、癌性胸膜炎の診断。同院に入院加療となる
2月1日	2月3日	3日	尿路感染症	KT37.9°C 検尿蛋白 (+) pH6 他の項目 (-) Dr聴診 呼吸音やや弱し 尿路感染症の診断。 抗菌剤内服投与 ノルフロキサシ(100) 3錠 3×1 3日間投与 経過観察へ

2月2日	2月3日	2日	肺炎	<p>KT37.4℃ 痰がらみあり。 酸素化不良SPO₂76% 酸素吸入20/分吸入 抗生剤内服投与 オグメンチン250RS 3錠 3×1 2日間投与 経過観察へ</p>
2月24日	2/30	7日	尿路感染症	<p>KT38.3℃ Spo₂98% 検尿 亜硝酸 (-) 蛋白 (+) 潜血 (+) 白血球 (2+) Dr聴診 心雑音あり (既往あり) 尿路感染症の診断 抗生剤7日間投与 ノルフロキサシ(100) 3錠 3×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4頓用 経過観察へ</p>

R4.3月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
3月2日	3月7日	6日	尿路感染症	Kt:38.3℃発熱 検尿:亜硝酸(-)、タンパク質(+)潜血(+)白血球(+) Dr診察にて尿路感染症の診断 抗生剤6日間投与 ノロキシソン(100)3T/3×1 解熱剤アセトアミノフェン(0.4)/屯用
3月1日	3月6日	6日	尿路感染症	3/1 Kt:38・3℃発熱 検尿:亜硝酸(-)、タンパク質(+)潜血(+)白血球(+) Dr診察にて尿路感染症の診断 抗生剤6日間投与 ノロキシソン(100)3T/3×1 解熱剤アセトアミノフェン(0.4)/屯用
3月17日	3月21日	5日	尿路感染症	Kt:37.6℃発熱 検尿:亜硝酸(2+)、糖(2+) 潜血(-)白血球(-) Dr診察にて尿路感染症の診断 抗生剤5日間投与 ノロキシソン(100)3T/3×1 解熱剤アセトアミノフェン(0.4)/屯用
3月15日	3月19日	5日	尿路感染症	Kt:39.6℃発熱 少量嘔吐(+) 検尿:亜硝酸(±)、蛋白(+) 潜血(2+)白血球(2+) Dr診察にて尿路感染症の診断 抗生剤5日間投与 ノロキシソン(100)3T/3×1 解熱剤アセトアミノフェン(0.4)/屯用
3月23日	3月25日	3日	肺炎	Kt:37.6℃発熱・酸素化不良にてO2:1ℓ使用Spo2:90~95% 検尿:亜硝酸(-)、蛋白(2+) 潜血(2+)白血球(-)ケトン体(-) Dr診察にて尿路感染症の診断 抗生剤3日間投与 オーグメンチン(250)3T/3×1 解熱剤アセトアミノフェン(0.4)/屯用

R4.4月

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
4月1日	4月10日	10日間	尿路感染症	肉眼的血尿(+) 排尿痛 (+) 4/4:検尿 亜硝酸(+) 潜血(3+)、 白血球(3+) 蛋白(+) Dr診察:尿路感染症の診断 抗生剤、止血剤、10日分処方 ノルフロキサシ(100)3T 3×1 トランサミン(250)3T 3×1 経過観察へ。
4月3日	4月5日	3日	尿路感染症	KT38.8℃ 検尿 潜血(2+) 糖(+) 亜硝酸(-)白血球(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤3日間投与 ノルフロキサシ(100)3T 3×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4頓用 経過観察へ
4月18日	4月22日	5日	右背部帯 状疱疹	右背部に水泡形成、発赤、掻痒感 (+) Dr診察にて帯状疱疹の診断 抗ウイルス剤5日分投与 アシクロビル(400)3T 3×1 局所に抗ウイルス剤ピダラビオン軟膏 塗布 経過観察へ

R4.5月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
5月2日	5月6日	5日間	尿路感染症	5/1 Kt:38.2℃発熱 5/2検尿:亜硝酸(-)蛋白(+) ケトン体(2+) 潜血(-) Dr診察にて尿路感染症の診断 抗生剤3日間投与 ノルフロキサシ(100)3T/3×1 解熱剤アセトアミノフェン(0.4)/屯用
5月2日	5月6日	5日間	尿路感染症	5/2Kt:38.7℃発熱 検尿:亜硝酸(2+)、蛋白(+)、 白血球(-) 潜血(-) Dr診察にて尿路感染症の診断 抗生剤5日間投与 ノルフロキサシ(100)3T/3×1 解熱剤アセトアミノフェン(0.4)/屯用
5月8日	5月12日	5日間	尿路感染症	5/2頃より、微熱持続.腰痛(+) 検尿:亜硝酸(-)、蛋白(2+)、 白血球(2+) 潜血(2+) Dr診察にて尿路感染症の診断 抗生剤5日間投与 ノルフロキサシ(100)3T/3×1 解熱剤アセトアミノフェン(0.4)/屯用
5月23日	5月25日	3日間	尿路感染症	5/23腹痛(+) バルカテーテル [®] 内浮遊沈殿物多し。KT36℃台 検尿:亜硝酸(+) 蛋白(2+) 潜血(2+) 抗生剤3日間投与 ノルフロキサシ(100)3T/3×1 経過観察へ
5月29日	5月31日	3日間	尿路感染症	5/29 KT38.3℃ 検尿:亜硝酸(2+)、白血球(±) Dr診察にて尿路感染症の診断 抗生剤3日間投与 ノルフロキサシ(100)3T/3×1 解熱剤アセトアミノフェン(0.4)/屯用 経過観察へ
5月9日	5月17日	9日	尿路感染症	KT38.4℃ 検尿にて潜血(-) 蛋白(3+) PH(8) 亜硝酸(-)白血球(2+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤 9日間投与 ノルフロキサシ(100)3T 3×1 解熱剤アセトアミノフェン0.4頓用 経過観察へ

R4.6月

治療 開始日	治療 終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
6月3日	6月5日	3日	尿路感染症	6/3 KT38.0℃ 尿汚染が見られる。 Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 ノルフロキサシ (100) 3T 3×1 KT38.0℃以上時アセトアミノフェン0.4g頓用 一般状態低下傾向にて経過観察へ
6月27日	6月30日	4日	尿路感染症	パッド内血尿確認する 検尿 亜硝酸 (+) 蛋白 (2+) 潜血 (2+) 白血球 (3+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤+胃腸薬4日間投与 ノルフロキサシ (100) 3T/3×1. レバミピド (100) 3T/3×1 経過観察へ
6月3日	6月7日	5日	尿路感染症	尿パット内、血尿・コアグラ認める 検尿亜硝酸 (+) 潜血 (3+) 尿蛋白 (+) 白血球 (2+) 排尿時痛 (+) Dr診察 尿路感染症との診断 抗菌剤5日間投与 ノルフロキサシ (100) 3T 3×1 経過観察へ
6月12日	6月15日	4日	尿路感染症	前日より排尿終末時痛あり 検尿亜硝酸 (2+) 白血球 (2+) その他 (-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤4日間投与 ノルフロキサシ (100) 3T 3×1 経過観察へ
6月16日	6月22日	7日	尿路感染症	KT 38.7℃ 検尿 亜硝酸 (+) 蛋白 (3+) 潜血 (3+) 白血球 (3+) 淡黄色尿 Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤7日間投与 ノルフロキサシ (100) 3T 3×1 経過観察へ
6月18日	6月24日	7日	尿路感染症	KT39.4℃ 検尿 亜硝酸 (+) 蛋白 (+) 潜血 (2+) 白血球 (3+) Dr診察 尿路感染症 の診断 抗生剤 7日間投与 ノルフロキサシ (100) 3T 3×1 KT38.0℃以上時 アセトアミノフェン0.4g 頓用 経過観察へ
6月24日	6月27日	4日	尿路感染症	KT38.5℃ 検尿 亜硝酸 (-) 蛋白 (+) 潜血 (+) 白血球 (+) Dr診察 尿路感染症 の診断 抗生剤 4日間投与 ノルフロキサシ (100) 3T 3×1 KT38.0℃以上時 アセトアミノフェン0.4g 頓用 経過観察へ